



UBSグローバル株式厳選投資ファンド
Aコース（ダイワ投資一任専用）／
Bコース（ダイワ投資一任専用）

* 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限（2016年9月26日設定）	
運用方針	この投資信託は、UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、日本を除く世界の株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、実質外貨建資産について、Aコースでは原則として対円で為替ヘッジを行い、Bコースでは為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	主として日本を除くグローバル株式を投資対象とします。
組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時（毎年6月15日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。）に、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配を行わないことがあります。収益の分配にあてなかった利益については、運用の基本方針に基づいて元本部分と同一の運用を行います。	

第8期 運用報告書（全体版）
決算日 2024年6月17日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「UBSグローバル株式厳選投資ファンドAコース（ダイワ投資一任専用）／Bコース（ダイワ投資一任専用）」は、去る6月17日に第8期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号
Otemachi Oneタワー

<お問い合わせ先>

投信営業部

03-5293-3700

<受付時間>

営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く

<http://www.ubs.com/japanfunds>

© UBS 2024. キーシボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。

UBSグローバル株式厳選投資ファンドAコース（ダイワ投資一任専用）

* 最近5期の運用実績 *

決算期	基準価額 (分配前)		期中 騰落率	ベンチマーク 騰落率	期中 騰落率	株式組入 比率	投資信託 証券組入 比率	純資産 総額
	円	%						
4期(2020年6月15日)	13,984	0	4.8	13,342	2.4	97.4	—	4,491
5期(2021年6月15日)	18,351	0	31.2	18,682	40.0	96.0	—	9,397
6期(2022年6月15日)	14,511	0	△20.9	16,524	△11.5	99.0	1.7	9,372
7期(2023年6月15日)	15,415	0	6.2	18,735	13.4	102.8	1.9	9,585
8期(2024年6月17日)	17,015	0	10.4	21,714	15.9	103.2	—	9,101

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」および「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) ベンチマーク（MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ヘッジ・円換算ベース））は、設定日を10,000として指数化しております。

* 当期中の基準価額等の推移 *

年月日	基準価額		ベンチマーク		株式組入 比率	投資信託 証券組入 比率
	円	%	騰落率	%		
(期首) 2023年6月15日	15,415	—	18,735	—	102.8	1.9
6月末	15,403	△ 0.1	18,730	0.0	97.9	1.8
7月末	15,773	2.3	19,396	3.5	95.3	1.7
8月末	15,680	1.7	19,007	1.5	99.5	1.8
9月末	14,963	△ 2.9	18,179	△ 3.0	96.4	1.5
10月末	14,461	△ 6.2	17,501	△ 6.6	98.5	—
11月末	15,567	1.0	18,940	1.1	98.4	—
12月末	15,979	3.7	19,821	5.8	97.6	—
2024年1月末	16,445	6.7	20,213	7.9	102.9	—
2月末	16,672	8.2	20,696	10.5	103.8	—
3月末	17,033	10.5	21,400	14.2	99.9	—
4月末	16,734	8.6	20,869	11.4	102.3	—
5月末	16,763	8.7	21,243	13.4	104.8	—
(期末) 2024年6月17日	17,015	10.4	21,714	15.9	103.2	—

(注1) 基準価額は1万円当たり。

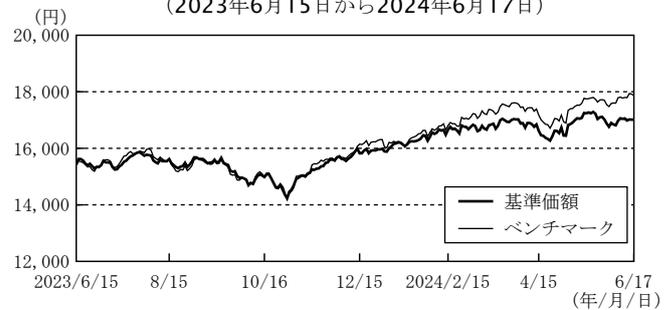
(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」および「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注4) ベンチマーク（MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ヘッジ・円換算ベース））は、設定日を10,000として指数化しております。

* 当期の運用状況 *

<当期の基準価額等の推移>
(2023年6月15日から2024年6月17日)



※ベンチマークは、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額は1,600円値上がりしました。なお、基準価額の騰落率は+10.4%となりました。

投資環境について

当期、グローバル株式市場は大幅高となりました。期の序盤、金融引き締め
の長期化観測や、中国経済の先行き不透明感などの不安材料が重なる中で、株
価は軟調な値動きとなりました。また、2023年10月に入り中東情勢が緊迫化
したことも株価の重石となりました。しかし2023年11月に入ると、米国のイン
フレ鈍化と欧米金利の低下を好感して株価は反発しました。さらに12月には、
パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長のハト派的な発言を手がかり
に一段高となり、2024年の年明け後も上昇の勢いを維持しました。期の終盤、
先進国における根強いインフレ圧力への警戒感から、株式への売り圧力が強ま
る局面もありましたが、米国経済のソフトランディング（軟着陸）期待などに
下支えされ、再び上昇しました。

運用経過

<当ファンドのポートフォリオについて>

当ファンドは、期を通じてUBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンド受益証券を高位に組入れ、ベンチマーク対比の超過収益の獲得を目指す運用を行いました。また、運用の基本方針にしたがい、対円での為替ヘッジを行うことで為替変動リスクの低減を図りました。

<マザーファンドのポートフォリオについて>

当ファンドは、日本を除く世界の株式を主要対象とし、トップダウンの市場・経済環境認識とボトムアップの個別銘柄選択を総合したアクティブ運用により、ベンチマーク対比の超過収益の獲得を目指す運用を行ってまいりました。なお、為替ヘッジは行っていません。

○期中の主な動き

- (1) 投資比率を引き上げた主な業種・銘柄
 一般消費財・サービスでは、人工知能（AI）の普及・浸透に必須のインフラであるクラウドサービスを提供する米ネット通販大手アマゾン・ドットコム（AMZN）のポジションを大幅に積み増したほか、流通網の効率化と直販部門への投資で収益性の改善が見込まれる米フットウェアメーカーのスケッチャーズUSAへの投資などにより、セクターウェイトを引き上げました。また金融についても、長期金利の上昇による収益環境の改善や、構造的な資産運用ニーズの高まりなどを踏まえて、フィンランドの保険会社大手サンボや、米資産運用会社アポロ・グローバル・マネジメントを組み入れたほか、米大手銀行JPモルガン・チェース&カンパニーへの追加投資などにより、同じくセクターウェイトを引き上げています。
- (2) 投資比率を引き下げた主な業種・銘柄
 ヘルスケアでは、肥満症治療薬の好調から株価が急上昇したデンマークの製薬会社ノボ・ノルディスクのほか、株式市場に追随し、昨年終盤から株価が大きく上昇した米科学関連製品メーカーのサーモ・フィッシャー・サイエンティフィック、およびベビーパウダーの発がん性を巡る集団訴訟の先行き不透明感が高まったことなどから、米総合ヘルスケア大手ジョンソン&ジョンソンをそれぞれ売却したことなどにより、セクターウェイトを引き下げました。また生活必需品についても、相対的な投資魅力度の低下から、米エネルギー飲料のモンスター・ビバレッジ、スイスの食品大手ネスレ、蘭ビール大手ハイネケンを売却したこと等により、同じくセクターウェイトを引き下げています。

※業種はMSCI分類に準拠しています。

<基準価額の主な変動要因>

当ファンドの基準価額の上昇要因は、組入マザーファンドの基準価額が値上がりしたことです。マザーファンドにおいては、グローバル株式市場の上昇に加え、為替市場における円安の進行もプラスに作用し、基準価額は上昇しました。なお、当ファンドは対円での為替ヘッジを行っているため、マザーファンドにおける為替変動の影響は、ほぼ相殺されています。

<ベンチマークとの差異について>

当期の騰落率は、基準価額の+10.4%に対してベンチマークが+15.9%となり、基準価額の騰落率はベンチマークの騰落率を5.5%下回りました。基準価額の騰落率がベンチマークの騰落率を下回った主な要因は、当ファンドにおいて信託報酬を負担したほか、組入マザーファンドの保有株式において、生活必需品や情報技術などのセクターにおけるセクター配分および銘柄選択がマイナスに作用したことです。

分配金について

当期は、市況動向等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

（1万口当たり・税引前）

項目	第8期
	2023年6月16日～2024年6月17日
当期分配金	－円
（対基準価額比率）	（ －％）
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	7,014円

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下四捨五入で算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<投資環境の見通し>

株式市場はもみ合いの展開を予想します。米国では、経済成長率および企業業績の安定した伸びや、金利の低下見通し、AI投資の拡大などが、今後も株価を支えするとみえています。一方で、米欧の政治リスクに対する警戒感のほか、FRBが利下げに慎重な姿勢を示す可能性、AI半導体株の過熱感などが、株価の上値を抑える要因になると考えています。欧州では、欧州中央銀行（ECB）による追加利下げ観測や、域内景気の先行きに対する楽観的な見方の強まりに加え、欧州株式の相対的な割安感が、引き続き株価の追い風になると期待されます。ただし、米欧の政治リスクへの警戒感が株価に影響を及ぼす可能性があると考えます。

<当ファンドの今後の運用方針>

引き続きマザーファンドを高位に組入れ、ベンチマーク対比の超過収益の獲得を目指す運用を行ってまいります。

<マザーファンドの今後の運用方針>

引き続き世界の株式に投資を行い、トップダウンの市場・経済環境認識とボトムアップの個別銘柄選択を総合したアクティブ運用により、ベンチマーク対比の超過収益の獲得を目指してまいります。

* 1万口当たりの費用明細 *

項目	当期 2023/6/16～2024/6/17		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	162円	1.018%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は15,956円です。
（投信会社）	(141)	(0.885)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(18)	(0.111)	運用報告書等各種書類の交付、口内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(4)	(0.022)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
売買委託手数料	3	0.020	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	(3)	(0.020)	株式などを取引所で売買する際に売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	投資信託証券を取引所で売買する際に売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	3	0.021	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（株式）	(3)	(0.021)	有価証券売買の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
その他費用	6	0.037	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.019)	海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用
（監査費用）	(2)	(0.012)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	(0)	(0.005)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	(0)	(0.001)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	174	1.096	

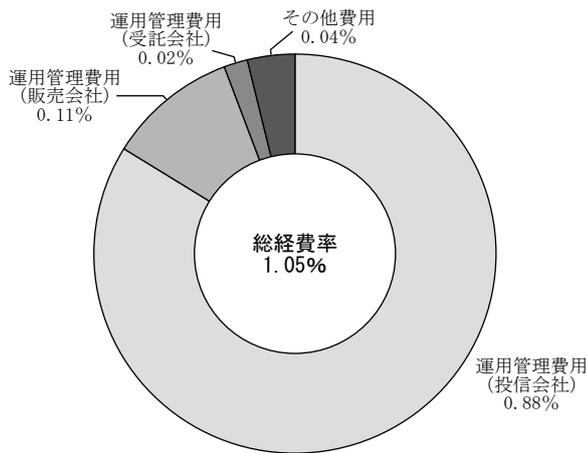
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報) 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.05%です。



(注1) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注2) 各比率は、年率換算した値です。

(注3) 上記の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注4) 上記の費用には、マザーファンドが支払った費用を含みます。

* 親投資信託受益証券の設定、解約状況 * (自 2023年6月16日 至 2024年6月17日)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
UBSグローバル・オポチュニティー (除く日本) 株式マザーファンド	652,431	1,892,000	1,773,814	5,052,000

(注) 単位未満は切り捨て。

* 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 *

項 目	当 期
	UBSグローバル・オポチュニティー (除く日本) 株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	113,648,010千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	64,584,673千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	1.75

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

UBSグローバル株式厳選投資ファンドAコース（ダイワ投資一任専用）／Bコース（ダイワ投資一任専用）

* 利害関係人等との取引状況等 * (自 2023年6月16日 至 2024年6月17日)

(1) 期中の利害関係人等との取引状況

期中における利害関係人等との取引はありません。

(2) UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンドにおける期中の利害関係人等との取引状況

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人等との取引状況 B	B/A	%	うち利害関係人等との取引状況 D	D/C	%
株式	百万円 47,881	百万円 124	0.3	百万円 65,766	百万円 -	-

(注) 平均保有割合 14.2%
※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合。

(3) 売買委託手数料総額に対する利害関係人等への支払比率

項目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	1,866千円
うち利害関係人への支払額 (B)	3千円
(B) / (A)	0.2%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうちこのファンドに対応するものを含みます。

※利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等であり、当ファンドに係る利害関係人等とはユービーエス・エイ・ジー（銀行）です。

* 組入資産の明細 *

親投資信託残高

(2024年6月17日現在)

項目	期 首			当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	口 数	口 数	評 価 額
UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンド	千口 3,951,198	千口 2,829,815	千円 9,662,122	千口 2,829,815	千口 9,662,122	千円 9,662,122

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 投資信託財産の構成 *

(2024年6月17日現在)

項目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンド	千円 9,662,122	% 98.9
コール・ローン等、その他	106,428	1.1
投資信託財産総額	9,768,550	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。
(注2) UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（60,164,196千円）の投資信託財産総額（60,199,362千円）に対する比率は99.9%です。
(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=157.53円、1カナダ・ドル=114.69円、1ユーロ=168.64円、1イギリス・ポンド=199.87円、1スイス・フラン=176.84円、1スウェーデン・クローネ=14.97円、1デンマーク・クローネ=22.60円、1オーストラリア・ドル=104.17円、1香港ドル=20.16円、100韓国ウォン=11.43円、1南アフリカ・ランド=8.58円です。

* 資産、負債、元本及び基準価額の状況 *

(2024年6月17日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	20,130,575,278円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	62,181,874
UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンド(評価額)	9,662,122,794
未 収 入 金	10,406,270,593
未 収 利 息	17
(B) 負 債	11,029,253,761
未 払 金	10,982,036,179
未 払 信 託 報 酬	46,422,391
そ の 他 未 払 費 用	795,191
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	9,101,321,517
元 本	5,349,044,805
次 期 繰 越 損 益 金	3,752,276,712
(D) 受 益 権 総 口 数	5,349,044,805口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	17,015円

(注記事項)
期首元本額 6,218,432,045円
期中追加設定元本額 1,404,506,697円
期中一部解約元本額 2,273,893,937円
1口当たり純資産額 1.7015円

* 損益の状況 *

(自2023年6月16日 至2024年6月17日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 31,615円
受 取 利 息	1,031
支 払 利 息	△ 32,646
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	877,354,969
売 買 益	3,495,009,502
売 買 損	△ 2,617,654,533
(C) 信 託 報 酬 等	△ 93,982,788
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	783,340,566
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 361,670,254
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	3,330,606,400
(配 当 等 相 当 額)	(2,448,780,651)
(売 買 損 益 相 当 額)	(881,825,749)
(G) 計 (D+E+F)	3,752,276,712
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	3,752,276,712
追 加 信 託 差 損 益 金	3,330,606,400
(配 当 等 相 当 額)	(2,450,944,968)
(売 買 損 益 相 当 額)	(879,661,432)
分 配 準 備 積 立 金	687,295,195
繰 越 損 益 金	△ 265,624,883

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益（87,460,158円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（3,064,981,517円）および分配準備積立金（599,835,037円）より分配対象収益は3,752,276,712円（10,000口当たり7,014円）ですが、分配を行っておりません。

UBSグローバル株式厳選投資ファンドBコース（ダイワ投資一任専用）

* 最近5期の運用実績 *

決算期	基準価額 (分配前)	税込み 分配金	期中 騰落率	ベンチマーク	期中 騰落率	株式組入 率	投資信託 証券組入 率	純資産 総額
	円	円	%		%	%	%	百万円
4期(2020年6月15日)	15,809	0	4.8	14,846	2.5	97.1	—	2,612
5期(2021年6月15日)	21,681	0	37.1	21,937	47.8	95.3	—	8,496
6期(2022年6月15日)	20,817	0	△4.0	23,073	5.2	93.0	1.6	11,719
7期(2023年6月15日)	24,128	0	15.9	28,552	23.7	95.6	1.8	13,328
8期(2024年6月17日)	31,389	0	30.1	39,183	37.2	96.7	—	17,419

(注1) 基準価額は1万円当たり。
 (注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」および「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
 (注3) ベンチマーク (MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)) は、設定日を10,000として指数化しております。

* 当期中の基準価額等の推移 *

年月日	基準価額		ベンチマーク		株式組入 率	投資信託 証券組入 率
	円	騰落率	円	騰落率		
(期首) 2023年6月15日	24,128	—	28,552	—	95.6	1.8
6月末	24,981	3.5	29,532	3.4	95.8	1.8
7月末	25,104	4.0	29,992	5.0	95.0	1.7
8月末	25,905	7.4	30,523	6.9	95.6	1.7
9月末	25,181	4.4	29,797	4.4	95.4	1.5
10月末	24,478	1.5	28,801	0.9	96.9	—
11月末	26,287	8.9	31,072	8.8	97.0	—
12月末	26,192	8.6	31,637	10.8	97.3	—
2024年1月末	27,978	16.0	33,574	17.6	98.9	—
2月末	29,053	20.4	35,202	23.3	97.4	—
3月末	29,913	24.0	36,682	28.5	98.5	—
4月末	30,559	26.7	37,189	30.3	96.9	—
5月末	30,778	27.6	38,090	33.4	98.7	—
(期末) 2024年6月17日	31,389	30.1	39,183	37.2	96.7	—

(注1) 基準価額は1万円当たり。
 (注2) 騰落率は期首比です。
 (注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」および「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
 (注4) ベンチマーク (MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)) は、設定日を10,000として指数化しております。

* 当期の運用状況 *

＜当期の基準価額等の推移＞
 (2023年6月15日から2024年6月17日)



※ベンチマークは、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額は7,261円値上がりしました。なお、基準価額の騰落率は+30.1%となりました。

投資環境について

当期、グローバル株式市場は大幅高となりました。期の序盤、金融引き締め長期化観測や、中国経済の先行き不透明感などの不安材料が重なる中で、株価は軟調な値動きとなりました。また、2023年10月に入り中東情勢が緊迫化したことも株価の重石となりました。しかし2023年11月に入ると、米国のインフレ鈍化と欧米金利の低下を好感して株価は反発しました。さらに12月には、パウエル米連邦準備制度理事会 (FRB) 議長のハト派的な発言をきっかけに一段高となり、2024年の年明け後も上昇の勢いを維持しました。期の終盤、先進国における根強いインフレ圧力への警戒感から、株式への売り圧力が強まる局面もありましたが、米国経済のソフトランディング (軟着陸) 期待などで下支えされ、再び上昇しました。

運用経過

＜当ファンドのポートフォリオについて＞

当ファンドは、期を通じてUBSグローバル・オポチュニティー (除く日本) 株式マザーファンド受益証券を高位に組入れ、ベンチマーク対比の超過収益の獲得を目指す運用を行いました。また、運用の基本方針にしたがい、為替ヘッジは行っていません。

＜マザーファンドのポートフォリオについて＞

当ファンドは、日本を除く世界の株式を主要対象とし、トップダウンの市場・経済環境認識とボトムアップの個別銘柄選択を総合したアクティブ運用により、ベンチマーク対比の超過収益の獲得を目指す運用を行ってまいりました。なお、為替ヘッジは行っていません。

○期中の主な動き

(1) 投資比率を引き上げた主な業種・銘柄
 一般消費財・サービスでは、人工知能 (AI) の普及・浸透に必須のインフラであるクラウドサービスを提供する米ネット通販大手アマゾン・ドット・コムをポジションを大幅に積み増したほか、流通網の効率化と直販部門への投資で収益性の改善が見込まれる米フットウェアメーカーのスケッチャーズUSAへの投資などにより、セクターウェイトを引き上げました。また金融についても、長期金利の上昇による収益環境の改善や、構造的な資産運用ニーズの高まりなどを踏まえて、フィンランドの保険会社大手サンボヤ、米資産運用会社アプロ・グローバル・マネジメントを組み入れたほか、米大手銀行JPモルガン・チェース&カンパニーへの追加投資などにより、同じくセクターウェイトを引き上げています。

(2) 投資比率を引き下げた主な業種・銘柄
 ヘルスケアでは、肥満症治療薬の好調から株価が急上昇したデンマークの製薬会社ノボ・ノルディスクのほか、株式市場に追随し、昨年終盤から株価が大きく上昇した米科学関連製品メーカーのサーモ・フィッシャー・サイエンティフィック、およびベビーパウダーの発がん性を巡る集団訴訟の先行き不透明感が高まったことなどから、米総合ヘルスケア大手ジョンソン&ジョンソンをそれぞれ売却したことなどにより、セクターウェイトを引き下げました。また生活必需品についても、相対的な投資魅力度の低下から、米エネルギー飲料のモンスター・ビバレッジ、スイスの食品大手ネスレ、蘭大手ハイネケンを売却したこと等により、同じくセクターウェイトを引き下げています。

※業種はMSCI分類に準拠しています。

＜基準価額の主な変動要因＞

当ファンドの基準価額の上昇要因は、組入マザーファンドの基準価額が値上がりしたことです。マザーファンドにおいては、グローバル株式市場の上昇に加え、為替市場における円安の進行もプラスに作用し、基準価額は上昇しました。

＜ベンチマークとの差異について＞

当期の騰落率は、基準価額の+30.1%に対してベンチマークが+37.2%となり、基準価額の騰落率はベンチマークの騰落率を7.1%下回りました。基準価額の騰落率がベンチマークの騰落率を下回った主な要因は、当ファンドにおいて信託報酬を負担したほか、組入マザーファンドの保有株式において、生活必需品や情報技術などのセクターにおけるセクター配分および銘柄選択がマイナスに作用したことです。

分配金について

当期は、市況動向等を勘案し、分配は行いませんでした。なお、分配にあてなかった利益につきましては、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(1万円当たり・税引前)

項目	第8期	
	2023年6月16日～2024年6月17日	
当期分配金	—円	
(対基準価額比率)	(—%)	
当期の収益	—円	
当期の収益以外	—円	
翌期繰越分配対象額	21,388円	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は、「収益調整金」および「配当準備積立金」から分配に充当した金額です。
 (注2) 対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
 (注3) 「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

＜投資環境の見通し＞

株式市場はもみ合いの展開を予想します。米国では、経済成長率および企業業績の安定した伸びや、金利の低下見通し、AI投資の拡大などが、今後も株価を下支えするとみています。一方で、米欧の政治リスクに対する警戒感のほか、FRBが利下げに慎重な姿勢を示す可能性、AI半導体株の過熱感などが、株価の上値を抑える要因になると考えています。欧州では、欧州中央銀行 (ECB) による追加利下げ観測や、域内景気の先行きに対する楽観的な見方の強まりに加え、欧州株式の相対的な割安感が、引き続き株価の追い風になると期待されます。ただし、米欧の政治リスクへの警戒感が株価に影響を及ぼす可能性があると考えます。

＜当ファンドの今後の運用方針＞

引き続きマザーファンドを高位に組入れ、ベンチマーク対比の超過収益の獲得を目指す運用を行ってまいります。

＜マザーファンドの今後の運用方針＞

引き続き世界の株式に投資を行い、トップダウンの市場・経済環境認識とボトムアップの個別銘柄選択を総合したアクティブ運用により、ベンチマーク対比の超過収益の獲得を目指してまいります。

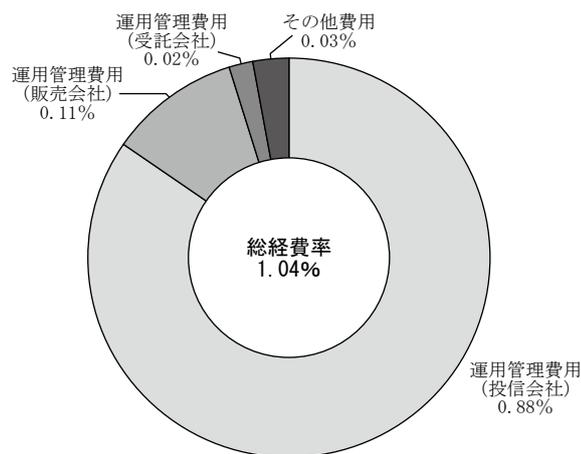
* 1万口当たりの費用明細 *

項目	当期 2023/6/16～2024/6/17		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	277円	1.018%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額（月末値の平均）は27,200円です。
（投信会社）	(241)	(0.885)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(30)	(0.111)	運用報告書等各種書類の交付、口内でのファンドに係る管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(6)	(0.022)	運用財産の管理、運用指図実行等の対価
売買委託手数料	6	0.020	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	(6)	(0.020)	株式などを取引所で売買する際に売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	投資信託証券を取引所で売買する際に売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	6	0.021	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（株式）	(6)	(0.021)	有価証券売買の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
その他費用	8	0.031	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(5)	(0.019)	海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用
（監査費用）	(2)	(0.007)	監査法人等に支払うファンド監査に係る費用
（印刷費用等）	(2)	(0.004)	法定開示書類作成の際に業者に支払う作成・印刷・交付等に係る費用（EDINET含む）等
（その他）	(0)	(0.001)	受益権の管理事務に関連する費用等
合計	297	1.090	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
 (注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報) 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.04%です。



(注1) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
 (注2) 各比率は、年率換算した値です。
 (注3) 上記の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
 (注4) 上記の費用には、マザーファンドが支払った費用を含みます。

* 親投資信託受益証券の設定、解約状況 * (自 2023年6月16日 至 2024年6月17日)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
UBSグローバル・オポチュニティー (除く日本) 株式マザーファンド	1,113,882	3,229,000	1,146,493	3,440,000

(注) 単位未満は切り捨て。

* 親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 *

項 目	当 期
	UBSグローバル・オポチュニティー (除く日本) 株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	113,648,010千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	64,584,673千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	1.75

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

UBSグローバル株式厳選投資ファンドAコース（ダイワ投資一任専用）／Bコース（ダイワ投資一任専用）

* 利害関係人等との取引状況等 * (自 2023年6月16日 至 2024年6月17日)

(1) 期中の利害関係人等との取引状況

期中における利害関係人等との取引はありません。

(2) UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンドにおける期中の利害関係人等との取引状況

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人等との取引状況 B	B/A	うち利害関係人等との取引状況 D	D/C		
株 式	百万円 47,881	百万円 124	% 0.3	百万円 65,766	百万円 -	% -

(注) 平均保有割合 23.4%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合。

(3) 売買委託手数料総額に対する利害関係人等への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	3,154千円
うち利害関係人への支払額 (B)	5千円
(B) / (A)	0.2%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうちこのファンドに対応するものを含みます。

※利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等であり、当ファンドに係る利害関係人等とはユービーエス・エイ・ジー（銀行）です。

* 組入資産の明細 *

親投資信託残高

(2024年6月17日現在)

項 目	期 首			当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	口 数	口 数	評 価 額
UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンド	千口 5,108,861	千口 5,076,251	千円 17,332,352	千口 5,108,861	千口 5,076,251	千円 17,332,352

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 投資信託財産の構成 *

(2024年6月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンド	千円 17,332,352	% 98.5
コール・ローン等、その他	272,000	1.5
投資信託財産総額	17,604,352	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（60,164,196千円）の投資信託財産総額（60,199,362千円）に対する比率は99.9%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=157.53円、1カナダ・ドル=114.69円、1ユーロ=168.64円、1イギリス・ポンド=199.87円、1スイス・フラン=176.84円、1スウェーデン・クローネ=14.97円、1デンマーク・クローネ=22.60円、1オーストラリア・ドル=104.17円、1香港ドル=20.16円、100韓国ウォン=11.43円、1南アフリカ・ランド=8.58円です。

* 資産、負債、元本及び基準価額の状況 *

(2024年6月17日現在)

項 目	当 期	末
(A) 資 産	17,604,352,989円	
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	98,000,829	
UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンド(評価額)	17,332,352,134	
未 収 入 金	174,000,000	
未 収 利 息	26	
(B) 負 債	184,749,317	
未 払 解 約 金	99,797,498	
未 払 信 託 報 酬	84,035,387	
そ の 他 未 払 費 用	916,432	
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	17,419,603,672	
元 本	5,549,612,370	
次 期 繰 越 損 益 金	11,869,991,302	
(D) 受 益 権 総 口 数	5,549,612,370口	
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	31,389円	

(注記事項)

期首元本額 5,523,912,992円
 期中追加設定元本額 1,596,397,023円
 期中一部解約元本額 1,570,697,645円
 1口当たり純資産額 31,389円

* 損益の状況 *

(自2023年6月16日 至2024年6月17日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 53,992円
受 取 利 息	1,991
支 払 利 息	△ 55,983
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	3,785,134,868
売 買 益	4,268,683,759
売 買 損	△ 483,548,891
(C) 信 託 報 酬 等	△ 158,526,651
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	3,626,554,225
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1,362,130,821
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	6,881,306,256
(配 当 等 相 当 額)	(3,803,722,239)
(売 買 損 益 相 当 額)	(3,077,584,017)
(G) 計 (D+E+F)	11,869,991,302
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	11,869,991,302
追 加 信 託 差 損 益 金	6,881,306,256
(配 当 等 相 当 額)	(3,807,519,697)
(売 買 損 益 相 当 額)	(3,073,786,559)
分 配 準 備 積 立 金	4,988,685,046

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(164,859,771円)、費用控除後の有価証券等損益額(3,461,694,454円)、信託約款に規定する収益調整金(6,881,306,256円)および分配準備積立金(1,362,130,821円)より分配対象収益は11,869,991,302円(10,000口当たり21,388円)ですが、分配を行っておりません。

UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンド

第8期（2024年6月17日決算）

（計算期間：2023年6月16日～2024年6月17日）

《運用報告書》

受益者のみなさまへ

「UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式マザーファンド」は、〈UBSグローバル株式厳選投資ファンドAコース（ダイワ投資一任専用）／Bコース（ダイワ投資一任専用）〉が投資対象とする親投資信託で、信託財産の実質的な運用を行っております。

ここにマザーファンドの第8期の運用状況をご報告申し上げます。

* 当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	この投資信託は、主として日本を除くグローバル株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	主として日本を除くグローバル株式を投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

UBSアセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区大手町一丁目2番1号
Otemachi Oneタワー

<お問い合わせ先>

投信営業部

03-5293-3700

<受付時間>

営業日の午前9時～午後5時、土、日、祝日除く

<http://www.ubs.com/japanfunds>

* 最近5期の運用実績 *

決算期	基準価額	期中騰落率	ベンチマーク	期中騰落率	株式組入率	投資信託証券組入率	純資産総額
4期(2020年6月15日)	円 16,474	% 5.9	14,846	% 2.5	% 97.6	% -	百万円 66,100
5期(2021年6月15日)	22,855	38.7	21,937	47.8	95.8	-	78,870
6期(2022年6月15日)	22,162	△3.0	23,073	5.2	93.5	1.6	84,905
7期(2023年6月15日)	25,959	17.1	28,552	23.7	96.0	1.8	63,423
8期(2024年6月17日)	34,144	31.5	39,183	37.2	97.2	-	59,724

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) ベンチマーク (MSCIロクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)) は、設定日を10,000として指数化しております。

* 当期中の基準価額等の推移 *

年月日	基準価額		ベンチマーク		株式組入率	投資信託証券組入率
	円	%	円	%		
(期首) 2023年6月15日	25,959	-	28,552	-	96.0	1.8
6月末	26,892	3.6	29,532	3.4	96.3	1.8
7月末	27,048	4.2	29,992	5.0	95.4	1.7
8月末	27,938	7.6	30,523	6.9	95.9	1.7
9月末	27,178	4.7	29,797	4.4	95.6	1.5
10月末	26,442	1.9	28,801	0.9	97.0	-
11月末	28,422	9.5	31,072	8.8	97.0	-
12月末	28,340	9.2	31,637	10.8	97.8	-
2024年1月末	30,309	16.8	33,574	17.6	99.3	-
2月末	31,503	21.4	35,202	23.3	97.7	-
3月末	32,464	25.1	36,682	28.5	98.7	-
4月末	33,196	27.9	37,189	30.3	97.0	-
5月末	33,463	28.9	38,090	33.4	98.8	-
(期末) 2024年6月17日	34,144	31.5	39,183	37.2	97.2	-

(注1) 基準価額は1万円当たり。

(注2) 騰落率は期首比です。

(注3) ベンチマーク (MSCIロクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)) は、設定日を10,000として指数化しております。

* 当期の運用状況 *

<当期の基準価額等の推移>
(2023年6月15日から2024年6月17日)

※ベンチマークは、期首の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額は期首比で8,185円値上がりしました。なお、基準価額の騰落率は+31.5%となりました。

投資環境について

当期、グローバル株式市場は大幅高となりました。期の序盤、金融引き締め
の長期化観測や、中国経済の先行き不透明感などの不安材料が重なる中で、株
価は軟調な値動きとなりました。また、2023年10月に入り中東情勢が緊迫化
したことも株価の重石となりました。しかし2023年11月に入ると、米国のイン
フレ鈍化と欧米金利の低下を好感して株価は反発しました。さらに12月には、
パウエル米連邦準備制度理事会 (FRB) 議長のハト派的な発言を手がかり
に一段高となり、2024年の年明け後も上昇の勢いを維持しました。期の終盤、
先進国における根強いインフレ圧力への警戒感から、株式への売り圧力が強ま
る局面もありましたが、米国経済のソフトランディング (軟着陸) 期待などに
下支えされ、再び上昇しました。

運用経過

<ポートフォリオについて>

当ファンドは、日本を除く世界の株式を主要対象とし、トップダウンの市場・
経済環境認識とボトムアップの個別銘柄選択を総合したアクティブ運用に
より、ベンチマーク対比の超過収益の獲得を目指す運用を行ってまいりました。
なお、為替ヘッジは行っておりません。

UBSグローバル株式厳選投資ファンドAコース（ダイワ投資一任専用）／Bコース（ダイワ投資一任専用）

○期中の主な動き

- (1) 投資比率を引き上げた主な業種・銘柄
 一般消費財・サービスでは、人工知能（AI）の普及・浸透に必須のインフラであるクラウドサービスを提供する米ネット通販大手アマゾン・ドットコム（AMZN）のポジションを大幅に積み増したほか、流通網の効率化と直販部門への投資で収益性の改善が見込まれる米フットウェアメーカーのスケッチャーズUSAへの投資などにより、セクターウェイトを引き上げました。また金融についても、長期金利の上昇による収益環境の改善や、構造的な資産運用ニーズの高まりなどを踏まえて、フィンランドの保険会社大手サンボや、米資産運用会社アポロ・グローバル・マネジメントを組み入れたほか、米大手銀行JPモルガン・チェース&カンパニーへの追加投資などにより、同じくセクターウェイトを引き上げています。
- (2) 投資比率を引き下げた主な業種・銘柄
 ヘルスケアでは、肥満症治療薬の好調から株価が急上昇したデンマークの製薬会社ノボ・ノルディスクのほか、株式市場に追随し、昨年終盤から株価が大きく上昇した米科学関連製品メーカーのサーモ・フィッシャー・サイエンティフィック、およびびべパウダーの発がん性を巡る集団訴訟の先行き不透明感が高まったことなどから、米総合ヘルスケア大手ジョンソン&ジョンソンをそれぞれ売却したことなどにより、セクターウェイトを引き下げました。また生活必需品についても、相対的な投資魅力度の低下から、米エネルギー飲料のモンスター・ビバレッジ、スイスの食品大手ネスレ、蘭ビール大手ハイネケンを売却したこと等により、同じくセクターウェイトを引き下げています。

※業種はMSCI分類に準拠しています。

<基準価額の主な変動要因>

当ファンドの基準価額は上昇しました。グローバル株式市場の上昇に加え、為替市場における円安の進行もプラスに作用しました。

<ベンチマークとの差異について>

当期の騰落率は、基準価額の+31.5%に対してベンチマークが+37.2%となり、基準価額の騰落率はベンチマークの騰落率を5.7%下回りました。基準価額の騰落率がベンチマークの騰落率を下回った主な要因は、保有株式において、生活必需品や情報技術などのセクターにおけるセクター配分および銘柄選択がマイナスに作用したことです。

今後の運用方針

<投資環境の見通し>

株式市場はもみ合いの展開を予想します。米国では、経済成長率および企業業績の安定した伸びや、金利の低下見通し、AI投資の拡大などが、今後も株価を支えるとみえています。一方で、米欧の政治リスクに対する警戒感のほか、FRBが利下げに慎重な姿勢を示す可能性、AI半導体株の過熱感などが、株価の上値を抑える要因になると考えています。欧州では、欧州中央銀行（ECB）による追加利下げ観測や、域内景気の先行きに対する楽観的な見方の強まりに加え、欧州株式の相対的な割安感が、引き続き株価の追い風になると期待されます。ただし、米欧の政治リスクへの警戒感が株価に影響を及ぼす可能性があると考えます。

<今後の運用方針>

引き続き、世界の株式に投資を行い、トップダウンの市場・経済環境認識とボトムアップの個別銘柄選択を総合したアクティブ運用により、ベンチマーク対比の超過収益の獲得を目指してまいります。

* 1万口当たりの費用明細 *

項目	当期 2023/6/16～2024/6/17		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	6円 (6) (0)	0.020% (0.019) (0.000)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 株式などを取引所で売買する際に売買仲介人に支払う手数料 投資信託証券を取引所で売買する際に売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税 (株式) (投資信託証券)	6 (6) (0)	0.019 (0.019) (0.000)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券売買の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (保管費用) (その他)	5 (5) (0)	0.018 (0.018) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外保管銀行等に支払う海外資産等の保管・送金・受渡等に係る費用 海外の税務手続きに関する費用等
合計	17	0.057	

※期中の平均基準価額は29,432円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

* 期中の売買及び取引の状況 *（自 2023年6月16日 至 2024年6月17日）

(1) 株式

外国	買付		売付	
	株数 百株	金額 千米ドル	株数 百株	金額 千米ドル
アメリカ	25,460 (1,145)	251,450 (8,807)	28,374 (2,308)	315,201 (25,796)
カナダ	3,199	13,928	925	11,771
ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
ドイツ	58	2,244	52	2,228
イタリア	3,894	6,633	2,319	4,887
フランス	206	2,146	1,225	21,101
オランダ	1,050 (84)	3,506 (154)	1,915 (-)	10,829 (154)
フィンランド	700 (5,061)	2,672 (10,790)	3,894 (2,530)	6,639 (10,790)
イギリス	3,301	10,909	14,173	17,369
スイス	3,458 (163)	23,082 (-)	3,630	31,108
デンマーク	- (874)	- (47,710)	444 (437)	42,378 (47,710)
香港	- (578)	- (-)	2,025	3,846
韓国	-	千韓国ウォン	526	千韓国ウォン 615,414

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(注3) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(2) 投資信託証券

外国	買付		売付	
	口数	金額 千米ドル	口数	金額 千米ドル
アメリカ				
SBA COMMUNICATIONS CORP	-	-	35,428	6,886
小計証券数・金額	-	-	35,428	6,886

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

* 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合 *

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	113,648,010千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	64,584,673千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.75

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

UBSグローバル株式厳選投資ファンドAコース（ダイワ投資一任専用）/Bコース（ダイワ投資一任専用）

* 主要な売買銘柄 * (自 2023年6月16日 至 2024年6月17日)

(1) 株 式

買 付				売 付			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
ASTRAZENECA PLC(イギリス)	90	1,919,444	21,288	NESTLE SA-REG(スイス)	162	2,563,353	15,805
AMAZON.COM INC(アメリカ)	84	1,806,397	21,410	PALO ALTO NETWORKS INC(アメリカ)	50	2,026,025	40,459
NESTLE SA-REG(スイス)	104	1,777,783	17,020	ALPHABET INC-CL A(アメリカ)	103	2,012,515	19,395
ALPHABET INC-CL A(アメリカ)	66	1,636,831	24,477	ASTRAZENECA PLC(イギリス)	100	1,943,194	19,393
LINDE PLC(アメリカ)	24	1,468,521	60,947	MICROSOFT CORP(アメリカ)	30	1,939,334	62,922
CONSOLIDATED EDISON INC(アメリカ)	108	1,449,126	13,304	META PLATFORMS INC-CLASS A(アメリカ)	26	1,917,137	72,770
META PLATFORMS INC-CLASS A(アメリカ)	26	1,388,718	52,712	ADOBE INC(アメリカ)	23	1,913,441	82,793
PEPSICO INC(アメリカ)	53	1,374,045	25,474	UBER TECHNOLOGIES INC(アメリカ)	155	1,686,153	10,823
PROGRESSIVE CORP(アメリカ)	41	1,214,916	29,463	UNITEDHEALTH GROUP INC(アメリカ)	20	1,616,170	77,350
BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B(アメリカ)	18	1,155,935	61,060	BOEING CO/THE(アメリカ)	47	1,536,233	32,681

(注) 金額は受け渡し代金。

(2) 投資信託証券

買 付				売 付			
銘柄	口数	金額		銘柄	口数	金額	
		千円				千円	
—	口	—	—	SBA COMMUNICATIONS CORP(アメリカ)	35,428	1,029,643	—

(注) 金額は受け渡し代金。(償還分は含まれておりません。)

* 利害関係人等との取引状況等 * (自 2023年6月16日 至 2024年6月17日)

(1) 期中の利害関係人等との取引状況

区 分	買付額等 A		うち利害関係人等との取引状況 B	売付額等 C		うち利害関係人等との取引状況 D
	百万円	%		百万円	%	
株 式	47,881	124	0.3	65,766	—	—

(2) 期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人等への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額(A)	13,093千円
うち利害関係人等への支払額(B)	24千円
(B)/(A)	0.2%

(注) 利害関係人等とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人等であり、当期における当ファンドに係る利害関係人等とはユービーエス・エイ・ジー(銀行)です。

* 組入資産明細表 * (2024年6月17日現在)

(1) 外国株式

銘柄	期首		当 期 末		業種等
	株数	株数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
ACTIVISION BLIZZARD INC	1,174	—	—	—	メディア・娯楽
ADOBE INC	270	43	2,261	356,247	ソフトウェア・サービス
AUTOMATIC DATA PROCESSING	127	—	—	—	商業・専門サービス
ADVANCED MICRO DEVICES	—	346	5,533	871,628	半導体・半導体製造装置
AMAZON.COM INC	688	1,134	20,837	3,282,475	一般消費財・サービス流通・小売り
BOEING CO/THE	365	—	—	—	資本財
BOSTON SCIENTIFIC CORP	1,663	923	7,089	1,116,877	ヘルスケア機器・サービス
CITIGROUP INC	—	634	3,763	592,860	銀行
COCA-COLA CO/THE	1,617	1,349	8,440	1,329,661	食品・飲料・タバコ
COMCAST CORP-CLASS A	2,089	—	—	—	メディア・娯楽
CONSOLIDATED EDISON INC	—	736	6,696	1,054,954	公益事業
CONSTELLATION BRANDS INC-A	347	264	6,706	1,056,450	食品・飲料・タバコ
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	—	694	6,062	955,047	ヘルスケア機器・サービス
JOHNSON & JOHNSON	547	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
JPMORGAN CHASE & CO	441	497	9,632	1,517,486	銀行
MICROSOFT CORP	1,099	848	37,569	5,918,295	ソフトウェア・サービス
MARSH & MCLENNAN COS	105	—	—	—	保険
PEPSICO INC	—	539	8,835	1,391,869	食品・飲料・タバコ
SALESFORCE INC	—	161	3,744	589,824	ソフトウェア・サービス
UNITEDHEALTH GROUP INC	147	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
BROWN & BROWN INC	—	684	6,167	971,624	保険
COLGATE-PALMOLIVE CO	1,108	681	6,445	1,015,361	家庭用品・パーソナル用品
BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	—	138	5,611	883,908	金融サービス
BIO-RAD LABORATORIES-A	125	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
GILDAN ACTIVEWEAR INC	—	789	2,963	466,837	耐久消費財・アパレル
NEXTERA ENERGY INC	1,409	870	6,363	1,002,434	公益事業
ARTHUR J GALLAGHER & CO	322	125	3,228	508,547	保険
SKECHERS USA INC-CL A	—	689	4,975	783,854	耐久消費財・アパレル
DOLLAR TREE INC	—	258	2,740	431,753	生活必需品流通・小売り
CENTENE CORP	1,272	896	6,178	973,370	ヘルスケア機器・サービス
NETFLIX INC	—	71	4,814	758,377	メディア・娯楽
FISERV INC	444	319	4,754	749,040	金融サービス
HESS CORP	365	273	3,924	618,182	エネルギー
INTL FLAVORS & FRAGRANCES	—	479	4,537	714,724	素材
MASTERCARD INC - A	284	189	8,419	1,326,396	金融サービス
NEWMONT CORP	—	1,615	6,594	1,038,865	素材
PROGRESSIVE CORP	—	324	6,613	1,041,797	保険
QUANTA SERVICES INC	299	—	—	—	資本財

銘柄	期首		当 期 末		業種等
	株数	株数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	185	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
VISA INC-CLASS A SHARES	471	210	5,685	895,676	金融サービス
VMWARE INC-CLASS A	946	—	—	—	ソフトウェア・サービス
CHUBB LTD	408	148	3,859	608,022	保険
ACCENTURE PLC-CL A	179	—	—	—	ソフトウェア・サービス
INGREDION INC	489	—	—	—	食品・飲料・タバコ
PALO ALTO NETWORKS INC	235	—	—	—	ソフトウェア・サービス
BROADCOM INC	—	100	17,371	2,736,488	半導体・半導体製造装置
FRONTIER GROUP HOLDINGS INC	1,427	—	—	—	エネルギー
NEW FORTRESS ENERGY INC	627	—	—	—	エネルギー
LYFT INC-A	—	2,847	4,035	635,714	運輸
GE HEALTHCARE TECHNOLOGY	—	504	3,856	607,522	ヘルスケア機器・サービス
APOLLO GLOBAL MANAGEMENT INC	—	463	5,367	845,497	金融サービス
NEXTERA ENERGY PARTNERS LP	661	—	—	—	公益事業
LINDE PLC	—	142	6,208	977,975	素材
KENVUE INC	1,494	—	—	—	家庭用品・パーソナル用品
ELEVANCE HEALTH INC	225	79	4,237	667,501	ヘルスケア機器・サービス
PDD HOLDINGS INC	—	166	2,475	389,957	一般消費財・サービス流通・小売り
ALPHABET INC-CL A	1,564	1,195	21,134	3,329,295	メディア・娯楽
ZSCALER INC	—	233	4,305	678,288	ソフトウェア・サービス
MONSTER BEVERAGE CORP	1,513	—	—	—	食品・飲料・タバコ
小計	株数・金額	株数・金額	290,044	45,690,700	
	銘柄数<比率>	銘柄数<比率>	—	<76.5%>	
(カナダ)			千カナダ・ドル		
INTACT FINANCIAL CORP	230	—	—	—	保険
TOURMALINE OIL CORP	—	1,181	7,456	855,226	エネルギー
DOLLARAMA INC	691	250	3,106	356,231	一般消費財・サービス流通・小売り
ARC RESOURCES LTD	—	1,763	4,223	484,435	エネルギー
小計	株数・金額	株数・金額	14,786	1,695,893	
	銘柄数<比率>	銘柄数<比率>	3	<2.8%>	
(ユーロ圏ドイツ)			千ユーロ		
MUENCHENER RUECKVER AG-REG	134	140	6,429	1,084,341	保険
小計	株数・金額	株数・金額	6,429	1,084,341	
	銘柄数<比率>	銘柄数<比率>	1	<1.8%>	
(ユーロ圏イタリア)					
LEONARDO SPA	—	1,575	3,337	562,829	資本財
小計	株数・金額	株数・金額	3,337	562,829	
	銘柄数<比率>	銘柄数<比率>	1	<0.9%>	
(ユーロ圏フランス)					
ATR LIQUIDE SA	445	—	—	—	素材
SCHNEIDER ELECTRIC SE	299	—	—	—	資本財
SANOFI	723	586	5,066	854,360	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	76	22	1,606	270,893	耐久消費財・アパレル
TELEPERFORMANCE	335	253	2,368	399,378	商業・専門サービス
小計	株数・金額	株数・金額	9,040	1,524,633	
	銘柄数<比率>	銘柄数<比率>	3	<2.6%>	
(ユーロ圏オランダ)					
HEINEKEN NV	1,149	505	4,797	809,015	食品・飲料・タバコ
KONINKLIJKE PHILIPS NV	2,672	2,556	6,162	1,039,271	ヘルスケア機器・サービス
ASML HOLDING NV	44	25	2,421	408,374	半導体・半導体製造装置
小計	株数・金額	株数・金額	13,381	2,256,660	
	銘柄数<比率>	銘柄数<比率>	3	<3.8%>	
(ユーロ圏フィンランド)					
SAMPO OYJ-A SHS	2,493	—	—	—	保険
SAMPO OYJ-A SHS	—	1,829	7,187	1,212,109	保険
小計	株数・金額	株数・金額	7,187	1,212,109	
	銘柄数<比率>	銘柄数<比率>	1	<2.0%>	
ユーロ計	株数・金額	株数・金額	39,377	6,640,573	
	銘柄数<比率>	銘柄数<比率>	10	<11.1%>	
(イギリス)			千イギリス・ポンド		
ASTRAZENECA PLC	470	370	4,629	925,263	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
LONDON STOCK EXCHANGE GROUP	337	—	—	—	金融サービス
HALLEON PLC	24,938	14,503	4,703	940,060	家庭用品・パーソナル用品
小計	株数・金額	株数・金額	9,332	1,865,324	
	銘柄数<比率>	銘柄数<比率>	3	<3.1%>	
(スイス)			千スイス・フラン		
NOVARTIS AG-REG	667	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NESTLE SA-REG	577	—	—	—	食品・飲料・タバコ
SANDOZ GROUP AG	—	1,236	3,943	697,303	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額	株数・金額	3,943	697,303	
	銘柄数<比率>	銘柄数<比率>	2	<1.2%>	
(デンマーク)			千デンマーク・クローネ		
NOVO NORDISK A/S-B	652	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NOVO NORDISK A/S-B	—	645	63,966	1,445,633	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額	株数・金額	63,966	1,445,633	
	銘柄数<比率>	銘柄数<比率>	1	<2.4%>	
(香港)			千香港ドル		
JOHN LABORATORIES CHINA C-H	1,446	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小計	株数・金額	株数・金額	—	—	
	銘柄数<比率>	銘柄数<比率>	1	<—%>	
(韓国)			千韓国ウォン		
K CAR CO LTD	526	—	—	—	一般消費財・サービス流通・小売り
小計	株数・金額	株数・金額	—	—	
	銘柄数<比率>	銘柄数<比率>	1	<—%>	
合計	株数・金額	株数・金額	58,035,427	58,035,427	
	銘柄数<比率>	銘柄数<比率>	57	<97.2%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電売相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

(2) 外国投資信託証券

* 損益の状況 *

(自2023年6月16日 至2024年6月17日)

銘柄	期首	当期		期末
	口数	口数	評価額	比率
			外貨建金額 千米ドル	邦貨換算金額 千円
(アメリカ) SBA COMMUNICATIONS CORP	35,428	—	—	—
合計	口数・金額 銘柄数<比率>	35,428 1	— —	— <-9%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
 (注2) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
 (注3) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。
 (注4) -印は組み入れなし。

項目	当期
(A) 配当等収益	722,414,356円
受取配当金	691,743,402
受取利息	30,779,758
その他収益	2,891
支払利息	△ 111,695
(B) 有価証券売買損益	17,684,149,179
売買益	21,936,652,672
売買損	△ 4,252,503,493
(C) 信託報酬等	△ 12,797,984
(D) 当期損益金(A+B+C)	18,393,765,551
(E) 前期繰越損益金	38,991,110,999
(F) 追加信託差損益金	6,026,084,491
(G) 解約差損益金	△21,178,027,566
(H) 計(D+E+F+G)	42,232,933,475
次期繰越損益金(H)	42,232,933,475

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

* 投資信託財産の構成 *

(2024年6月17日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	58,035,427千円	96.4%
コール・ローン等、その他	2,163,935	3.6
投資信託財産総額	60,199,362	100.0

(注1) 金額の単位未満は切り捨て。
 (注2) 当期末における外貨建純資産（60,164,196千円）の投資信託財産総額（60,199,362千円）に対する比率は99.9%です。
 (注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=157.53円、1カナダ・ドル=114.69円、1ユーロ=168.64円、1イギリス・ポンド=199.87円、1スイス・フラン=176.84円、1スウェーデン・クローネ=14.97円、1デンマーク・クローネ=22.60円、1オーストラリア・ドル=104.17円、1香港ドル=20.16円、100韓国ウォン=11.43円、1南アフリカ・ランド=8.58円です。

* 資産、負債、元本及び基準価額の状況 *

(2024年6月17日現在)

項目	当期末
(A) 資産	60,742,462,457円
コール・ローン等	1,856,596,273
株式(評価額)	58,035,427,963
未収入金	784,070,216
未収配当金	66,367,996
未収利息	9
(B) 負債	1,017,672,345
未払金	544,672,345
未払解約金	473,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	59,724,790,112
元本	17,491,856,637
次期繰越損益金	42,232,933,475
(D) 受益権総口数	17,491,856,637口
1万口当たり基準価額(C/D)	34,144円

(注記事項)
 期首元本額 24,431,913,562円
 期中追加設定元本額 3,243,915,509円
 期中一部解約元本額 10,183,972,434円
 1口当たり純資産額 3,4144円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]
 UBSグローバル・オポチュニティー（除く日本）株式ファンド（FOFs用）（適格機関投資家専用） 9,585,789,706円
 UBSグローバル株式厳選投資ファンドAコース（ダイワ投資一任専用） 2,829,815,720円
 UBSグローバル株式厳選投資ファンドBコース（ダイワ投資一任専用） 5,076,251,211円